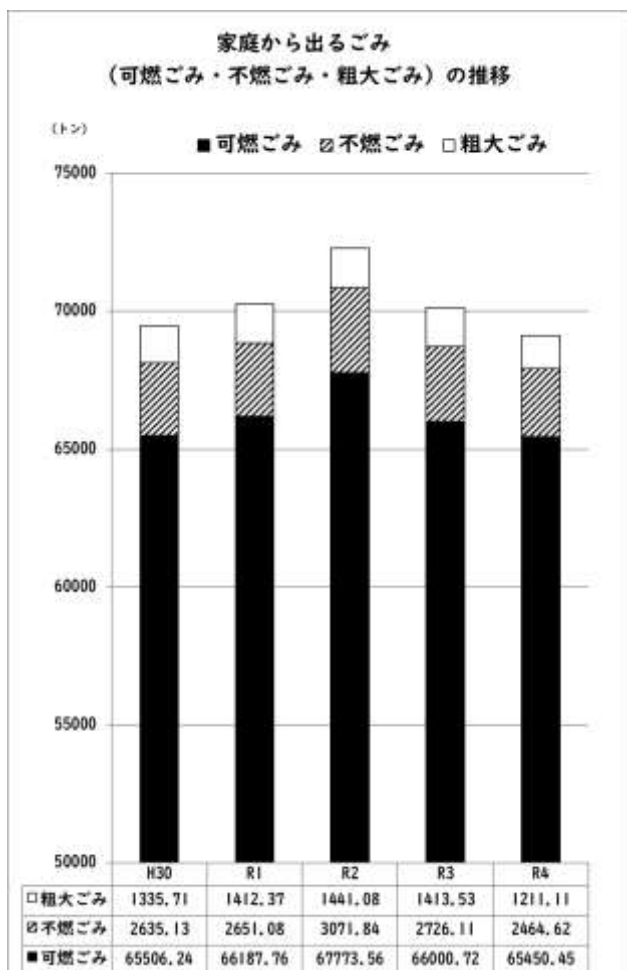


# 環境美化推進員だより



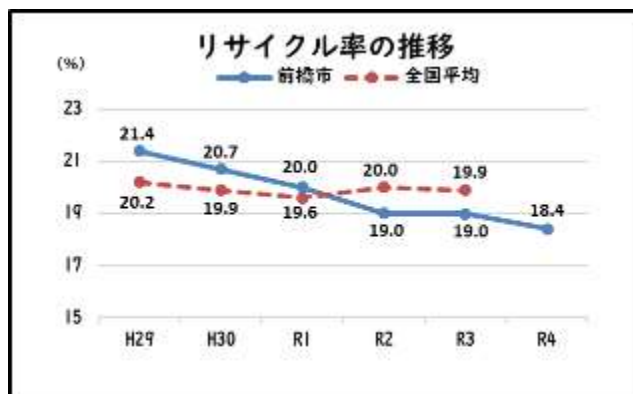
## 前橋市のごみの現状

前橋市のごみの排出量は、新型コロナウイルスの影響か、増加傾向にありましたが、昨年度は一昨年に引き続き、減少しました。このまま、さらなるごみの減量を目指しましょう。皆様に現状をお知らせすると共に、今後のより一層のご協力をお願い申し上げます。



～令和4年度～

- 前橋市ごみ総排出量  
110,863.894 トン  
(前年度 111,713.623 トン)
- 家庭から出るごみ  
(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)  
69,126.18 トン  
(前年度 70,140.36 トン)
- リサイクル率  
18.4% (前年度 19.0%)



※令和4年度の全国平均の値は、まだ公表されていません。



## 環境美化推進員活動報告書より

ご提出いただきありがとうございました。いただいたご意見のなかから、特色の強い取り組みを抜粋しました。これからも地域の皆さんと協力して、ごみの問題を解決していきましょう。

- 集積場所のネットの破損は早期に修理交換し、飛散やカラス、ネコなどによる散乱防止に努めた。
- 集通学路に面している集積場所について、道路にはみ出さないように注意喚起した。登校時の児童の安全に役立った。
- 者等の状況を町便りで広報し、町民へのマナー向上に役立っている(状況は毎月掲載している)
- 廃止した集積場に花を植えたプランターを置くことで、ルール違反のゴミ出しが減った。
- 2022年4～9月版の「家庭用資源・ごみ収集カレンダー」に掲載されていた「ごみ出しルールで外国語を学んじゃおう」を拡大コピーし、各ごみ集積所へ掲示した結果、今まで外国人が排出していたと思われる可燃ごみ以外が混在するごみ袋の排出及び投げ捨てが少なくなった。
- 特に悪質なルール違反には、写真を撮り、A4版のカラー写真にしてしばらく、掲示して警告している。

(令和4年度環境美化推進員活動報告書より)



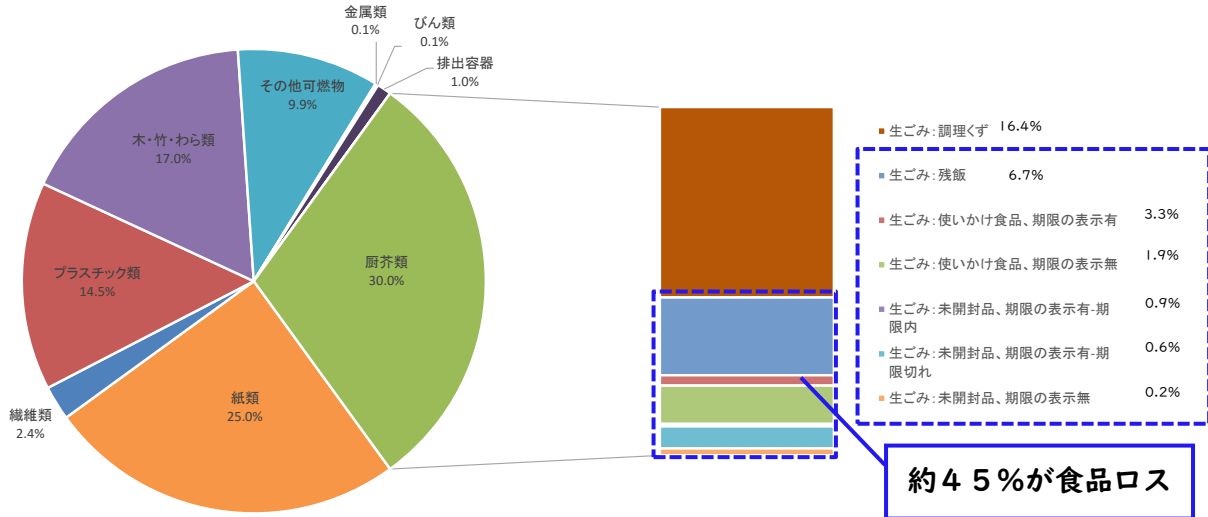
## 食品ロス・ごみの減量について

まだ食べられるのに捨てられている食べ物「食品ロス」と言われるものは、日本では年間約523万トン排出されていると言われています。（農林水産省令和3年度推計値）

前橋市では、令和5年度に市内全域を対象に、改めて家庭ごみ(可燃)組成調査を行いました。その結果、前橋市全体で年間約8,902トン。1人1日当たり約74グラム、年間約27キログラムにもなります。

また、可燃ごみに含まれる生ごみ(30.0%)のうち、約45%は食品ロスに当たります。

-大類分別の可燃ごみ中の厨芥類の内訳-



### 食品ロスを減らすための取り組み

- ・食べきれぬ量を作り、残さず食べる。
- ・調理する際には、野菜の皮など薄くむくようにするなど、食べられる部分を捨てすぎない。
- ・買い物に行く際は、まず家庭にある食材を確認してから必要な分だけ購入する。

みなさんの少しの心掛けて食品ロスは減らすことができますので、ご協力をお願いします。

また、食品ロスだけではなく、資源となる紙類やプラスチック製容器包装なども多く可燃ごみとして捨てられているため分別をお願いします。

## ご家庭でお願いしたい『7つのG活チャレンジ』



前橋市では、令和7年度までに、家庭ごみ(資源ごみは含めない)の量を1人1日あたり492gにすることを目標にしています。令和4年度は570gでした。みなさんの力を合わせ、現状より1人1日当たりあと78gごみを減量しましょう。

目標まで **78g!**



お問い合わせ先 前橋市役所 環境部ごみ政策課

TEL: 027-898-6272 (直通) FAX: 027-223-8524